

みたけ夢だより

6月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

学校再開に向けて… ～みんなが安心して笑顔で登校できるようにするために～

校長 羽田 敏隆

長期にわたった休校期間を経て、3か月ぶりに学校に子どもたちが戻ってきます。1年生については、入学式はありましたが、その後1日しか登校せず、ほぼ初めての学校生活のような感じですね。「わくわく」よりも「どきどき」のほうが強いでしょうか。

登校する子どもたち・ご家庭から送り出す保護者の皆様・子どもたちをいろいろな形で見守ってくださる地域の方々…。教職員を含めてこのような事態・状況は未経験であり、懸念されることはたくさんあります。いろいろな心配・不安を抱えていることと思います。

そのような状況の中でも、みたけ台小学校は「あったかい学校」「安全で安心できる学校」「みんなが成長できる学校」でありたいと思います。学校の再開に際しても、この思いを変わず大切に、子どもたちが安心して学校生活を送れるように努めていきます。

「新型コロナウイルスの感染防止」と「心のケア」「学習の保障」を大切に、教職員一同で知恵を絞り、工夫して、みんなが安心できるような態勢を整えていきます。「現状に対応して変えること」と「変わらず大切にすること」の2つを見極めながら、児童と保護者、教職員が共通理解・連携して学校生活をスタートさせます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。気になることがありましたら遠慮なく学校にご連絡・ご相談ください。

感染防止のための取組

- 1 各クラスを午前部と午後部の2つに分けて半分の人数で授業を行います。(6月1日～12日)
- 2 集団登校は行いません。
午前部は8時～8時20分まで、午後部は12時30分～12時50分まで開門します。開門は東門と南門の両方行います。門の前で開門を待つことはできません。また、一度に大勢の子どもが登校して昇降口が混雑することがないようにします。そのために登校時間がばらけるようにご家庭でもご協力ください。
- 3 マスクの着用を徹底します。児童への飛沫感染を防ぐために職員がフェイスシールドをつけて指導する場合があります。
- 4 毎時間教室の換気を行います。
- 5 トイレ、水道場では子どもたちが密集しないように並ぶ位置に目印をつけます。
- 6 職員が共用部分や教室の机、いす等の消毒や教室の清掃を行います。
- 7 健康観察票を使って、体温やご家族の体調確認を行います。
- 8 手指消毒用のアルコールを各教室に設置します。
- 9 水道場の混雑緩和のために水筒使用をお願いします。
- 10 登校後などに手洗いタイムを設けます。



- 1 1 手洗い後に手をふくために、大きめのタオルを持たせてください。
- 1 2 予備のマスクをビニール袋に入れて持たせてください。
- 1 3 使用済みのマスクやティッシュは学校で捨てずに家庭に持ち帰るように指導します。持ち帰るときに使う小さめのゴミ袋を持たせてください。

心のケア、差別や偏見を生まない取組

※登校初日に全校放送・学級指導で子どもたちに伝え、継続して取り組んでいきます。

その① 児童の心身の状態を把握したり、児童の思いを聞いたりします

- ・「体の中で調子の悪い所がある（腹痛、発熱、頭痛、吐き気等）」「眠れない」など毎朝継続的に健康観察をします。同時に、「元気がない」「落ち着きがない」「イライラして攻撃的になった」「ハイテンション」などの様子の変化も観察します。
- ・児童一人一人と話す時間を持ち、今どんなことに困っているのか、これから先なにが心配なのかを聞き、児童が話し出したことに耳を傾けます。なかなか話すことができない児童に対しては、無理に表現させようとせず話せる時がくるのを待ちます。

その② 「つなぐ」 児童との関係づくり、安心感・安全感を提供します

- ・教師と児童、児童同士の関係づくりに取り組みます。様々な活動を通して、「クラス・学年の子たちは仲間なのだ」という気持ちを深められるように工夫していきます。
- ・必要に応じて、養護教諭や児童支援専任、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに繋いで、児童の心のケアに努めます。

その③ 差別や偏見の禁止、いじめを生まない風土づくりに努めます

- ・相手に受け入れてもらえることを実感したり、みんなと一体感を感じられる体験を重ねたりすることを通して、温かな雰囲気包まれた風土づくりを進めていきます。
- ・誰もが不安に感じている状況の中でも、医療関係者をはじめ多くの方々の頑張りに支えられて私たちの生活が成り立っていることを知り、感謝の気持ちをもって接することが大切であることを伝えていきます。差別や偏見が決して許されることではないことを、教師が率先して示していきます。

授業再開後の学習について

- 1 安心して学習に取り組めるよう、児童の心の安定を図ります。学習面に不安をもつ児童については学級担任を中心に個々に対応します。
- 2 休校期間中の児童の学習状況を把握し、今後の指導に生かします。
- 3 ノートやプリント等を活用し、学んだことを個人内で振り返る作業を通して身に付けた力を定着できるような工夫をしていきます。
- 4 グループ活動や話し合い等児童間の距離が近づく学習活動は当面行いません。
- 5 横浜市教育委員会からの通知をもとに夏季休業の短縮や行事の見直しなどを行い、授業時数を確保するとともに、教育課程の再編成を行います。

